

論文概略

論文タイトル	Feasibility of computerized brain plasticity-based cognitive training after traumatic brain injury
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 49 Number 10 Page 1547
出版年	2012 年

支援機器	Brain plasticity-based cognitive training (BPCT ソフトウェア)
分類(ISO9999)	4
試験相	2
研究仮説 (目的) の概要	外傷性脳損傷後 (TBI)の被験者に BPCT が使用でき通用するかどうか検討すること
研究デザイン	対照なしの介入研究
障害・疾患	外傷性脳損傷後
対象者・数	障害者 10 人
主要アウトカム	自動神経心理学的評価測定 (ANAM) 前頭葉機能に対する行動評価 (FrSBe)
副次アウトカム 1	CFQ
副次アウトカム 2	
副次アウトカム 3	
副次アウトカム 4	
副次アウトカム 5	
統計学的検定	無
結果の概要	認知機能は改善し、BPCT が通用することを示唆 疲労が最も多い副作用

論文整理番号 252 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター